

平成27年度学校給食地場産食材使用状況調査の結果について

○ 調査方法等

(1) 調査対象

県内公立小中学校の全ての学校給食施設 204施設

(2) 地場産食材使用率算出方法（食品数ベース）

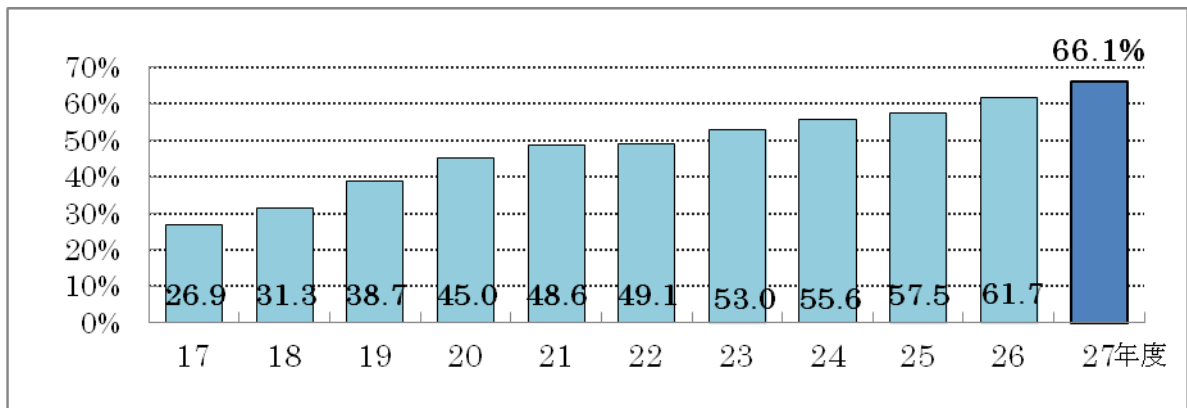
使用率（%）＝（山口県産食品数 ÷ 全使用食品数）× 100

(3) 調査期間

各学期において県教委が任意に指定した5日間（計15日間）

○ 調査結果の概要

(1) 地場産食材使用率 66.1%（対前年度比 4.4ポイント増）



(2) 食品分類別の使用率

	使用率 [前年度比 (ポイント)]		使用率 [前年度比 (ポイント)]
牛乳・乳製品	95% [+0]	その他野菜類	67% [+4]
穀類	86% [+2]	魚介類	66% [+5]
豆類	69% [+2]	緑黄色野菜類	61% [+5]
果実類	69% [+2]	きのこ類	56% [+10]
獣鳥肉類	76% [+10]	いも及びでんぷん類	35% [+4]

(3) 各市町における県産品の使用率

使用率	市町数	市町名
70%以上	9	宇部市、下松市、長門市、柳井市、美祢市、 山陽小野田市、田布施町、平生町、阿武町
70～50%	10	下関市、山口市、萩市、防府市、岩国市、光市 周南市、周防大島町、和木町、上関町

(4) 市町の主な取組事例

市町名	取組事例等
長門市	○長門農林事務所、長門大津農協、青果市場による情報提供をもとに献立作成を行った。また、生産者との意見交換、産地見学等により、地元食材の調達などを工夫することで使用率が上昇した。
柳井市	○地元の農家の方々に構成している学校給食協力会や農林事務所と連携し、農家の方が作りやすく、学校給食で使用しやすいじゃがいもの品種の検討を行った。 ○学校給食協力会以外の野菜納品業者に県産野菜（にんじん）の納品を依頼した。 ○豆腐を製造している業者に県産大豆を使用した油揚げ、厚揚げの製造の依頼を行った。